



漁海況通信

長崎県総合水産試験場 漁業資源部 海洋資源科

〒851-2213 長崎市多以良町 1551-4 電話 095-850-6304 FAX 095-850-6346

ホームページアドレス <https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

五島海区におけるキビナゴの資源評価

五島海区におけるキビナゴの資源水準は**低位**、動向は**横ばい**と判断されます

I. 漁獲量の動向および資源評価

五島海区におけるキビナゴ漁獲量は近年 800 トン前後で推移していましたが、令和 5 年の漁獲量は 723 トンで前年（795 トン）並み、平年（855 トン）並みでした（前年比 91.0%、平年比 84.5%）（図 1）。令和 5 年のキビナゴ月別漁獲量は、1~3、9~10 月は平年並み、4~5、8、11~12 月は平年より少なく推移しています（図 2）。

※ 過去5年間の漁獲量の平均値（平年）より 20%以上上回った場合を「多い」、下回った場合を「少ない」、±20%以内を「平年並み」としました。

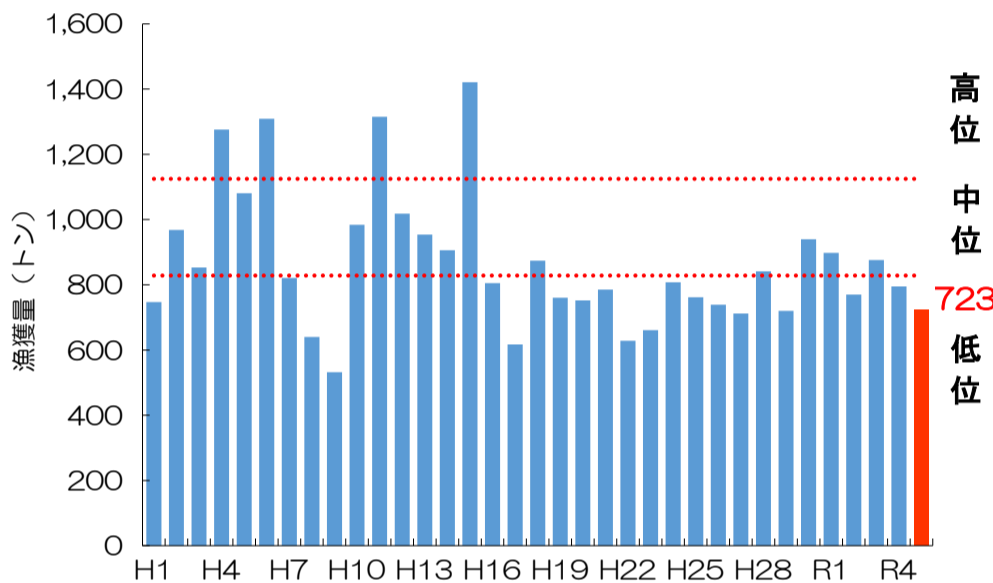


図1 五島海区におけるキビナゴの漁獲量
(H18までは農林水産統計年報、それ以降は推定値)

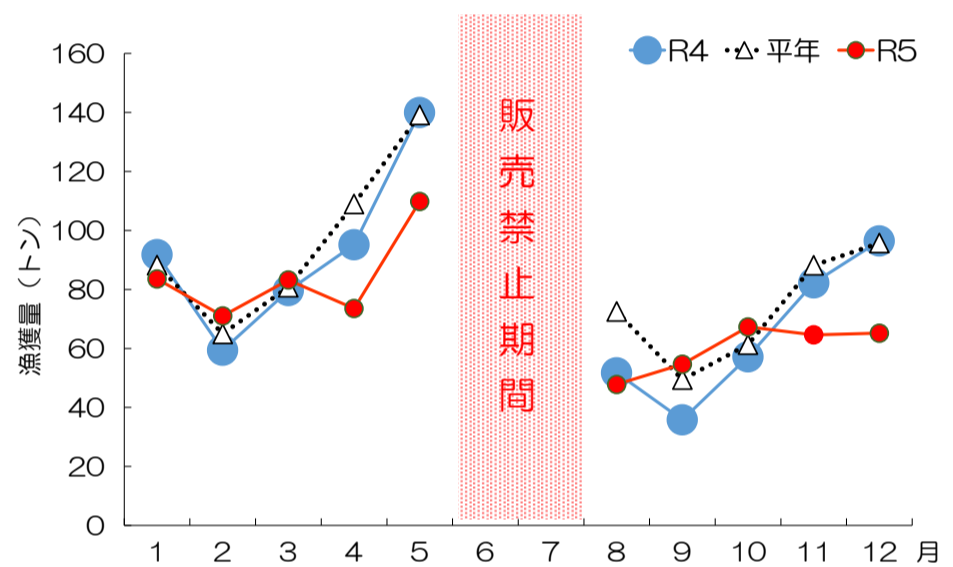


図2 五島標本漁協におけるキビナゴ月別漁獲量

五島海区におけるキビナゴ漁獲量から資源状況を評価すると、令和 5 年におけるキビナゴの資源水準は**低位**にあり、過去 5 年間の動向から**横ばい**と判断しました（図 1~2）。

※ 資源水準：H1~R4の漁獲量の最大値と最小値の間を3分割し、828以下を低位、828~1,125を中位、1,125以上を高位としました。

※ 資源動向：過去5年間の漁獲量の平均値より 20%以上下回った場合を「少ない」、上回った場合を「多い」、中間を「横ばい」としました。

II. 近年の産卵期の特徴

これまでの研究事例では、五島海区におけるキビナゴの産卵期は6~9月と考えられています。直近5ヶ年の生殖腺指数を見ると、令和元年は7月~9月まで、令和2、4年は5月から、令和3年は6月から成熟したキビナゴが確認される等、生殖腺の発達時期に若干の年変動が生じています（図3）。

生殖腺指数は、キビナゴの体重に対する卵巣・精巣の重さの割合を指標にしたものです。卵巣・精巣が発達したキビナゴが多い月に色をつけています。

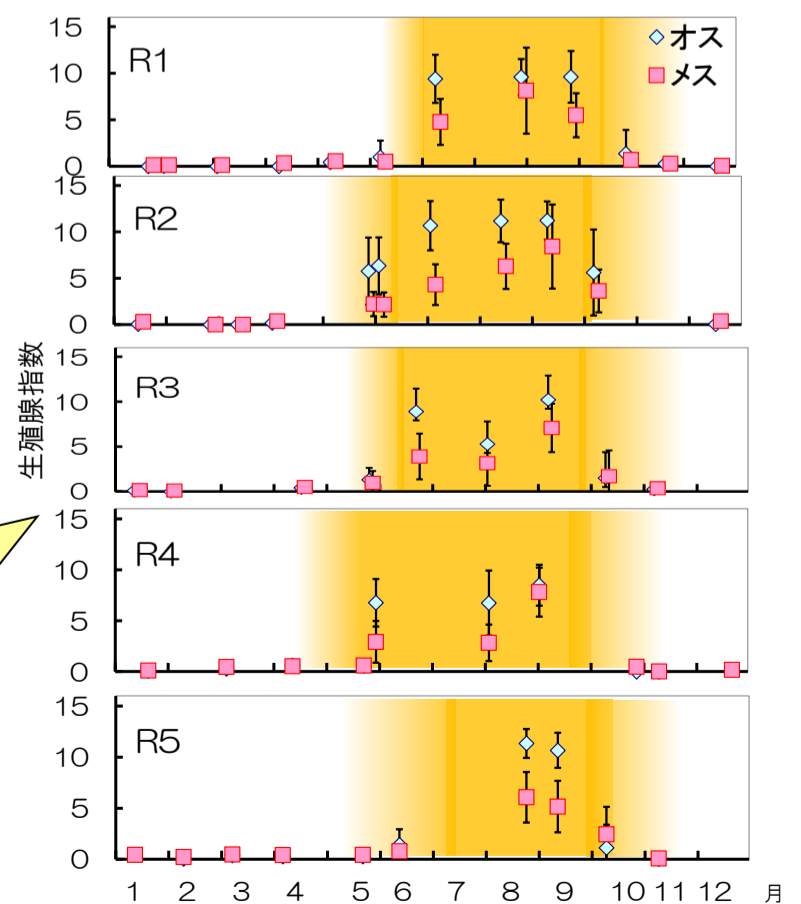


図3 生殖腺指数の月別の推移